









日次

風景 5 風景撮影の基本設定 ● フォーカスモードを AF-S.
 のプレビュー
 12

 ● BKT オートブラケティング......12 ● RESET フォーカスポイント中央リセット 12 ポートレート 15 ポートレート撮影の基本設定......16 モーターモードを「ファインダー優先」に単 19

ポートレート撮影に便利な	20
	20
● ▶ 冉生	21
● KLOCI フォーカスホイント中天クビット	21
 ● g 拡大両面との切り換え 	
スポーツ	23
スポーツ撮影や動く被写体を撮影するための基本設定	24
● フォーカスモードを AF-C に !!	
● AF エリアモードを[ダイナミック AF]に‼	
● 手ブレ補正を [スポーツ] に !!	
● モニターモードを[ファインダー優先]に‼	
スポーツ撮影に便利なカスタムボタンの割り当てについて .	28
● ▶ 再生	
● ᢗ┓ プロテクト	
● RESET フォーカスポイント中央リセット	
● AF/⊡ フォーカスモード /AF エリアモード	
● Q 拡大画面との切り換え	
動画モードの静止画撮影機能を使って	
決定的な瞬間をとらえたい	31
高速連続撮影と高速連続撮影(拡張)の違いを知りたい …	34
● 撮影画面について	
● 連続撮影速度について	
シャッタースピードと絞り値を	
維持して適正露出で撮影したい	37

便利な機能

よく使う機能を撮影モードダイヤルに登録したい4	10
ファインダー撮影時に目が疲れないようにしたい4	11
フリッカー現象の影響を低減して撮影したい4	12
ターゲット追尾 AF を使って 動く被写体にピントを合わせ続けたい4	14
ピント合わせの操作とレリーズ操作を別のボタンに分けたい…4	16
動物瞳 AF/ 顔認識 AF を使って	
犬や猫の顔や瞳にピントを合わせたい4	17
 動物撮影の基本設定 	17
必要な画像に印をつけたい	50
 ● プロテクトを設定する 	50
● レーティングを設定する	52

風景

風景写真をより鮮明に、より快適に撮 影するための基本設定やおすすめ機能 を紹介します。



風景撮影の基本設定

風景写真を撮影する場合におすすめの設定は次の通りです。

静止画撮影メニュー	
フォーカスモード	AF-S
AF エリアモード	シングルポイント AF
回折補正	する
手ブレ補正	手持ち撮影時: ノーマル 三脚使用時: しない ^{**1}
サイレント撮影	する
カスタムメニュー	
a7 半押し AF レンズ駆動	する
a11 ローライト AF	する
d4 露出ディレーモード	1秒 ^{※2}
その他	
レリーズモード	1 コマ撮影
モニターモード	モニターのみ

※1 使用するレンズに手ブレ補正機能がある場合は、レンズに よっておすすめの設定が異なります(<u>18</u>)。

※2別売のリモートコントロールアクセサリーをお持ちの場合は、[露出ディレーモード]の代わりにリモートコントロール アクセサリーのご使用をおすすめします。

6

フォーカスモードを AF-S、AF エリアモー ドを [シングルポイント AF] に !!

撮影者がピント合わせをしたいポイン トを選べ、シャッターボタンを半押し するとフォーカスがロックされるため、 風景撮影などの静止している被写体撮 影の基本的な組み合わせです。



● 手ブレ補正は手持ち撮影時は [ノーマル] に !!

手ブレ補正の設定は、カメラを手持ち で撮影するのか、カメラを三脚に固定 して撮影するのかによって設定を変更 してください。



 手持ちで撮影する場合は [ノーマル] に設定してください。手 ブレ補正効果が高く、静止している被写体を撮影する場合に適 しています。

風景撮影の基本設定

- ・ 手ブレ補正切り替えスイッチのある F マウントレンズを装着している場合、[**手ブレ補正**] はグレーで表示されて設定できません。レンズで手ブレ補正の設定を行ってください。
- 三脚使用時のおすすめの設定はレンズによって異なります。
 - 手ブレ補正機能がある Z マウントレンズを装着している場合 は [ノーマル]、手ブレ補正機能がないレンズを装着している 場合は [しない] に設定してください。
 - 次のFマウントレンズを装着している場合、レンズ側で手ブレ補正機能をノーマルにしてください。それ以外のFマウントレンズを装着している場合は、レンズの説明書をご覧ください。
 - AF-P DX NIKKOR 10-20mm f/4.5-5.6G VR
 - AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR
 - AF-P DX NIKKOR 70-300mm f/4.5-6.3G ED VR
 - AF-P NIKKOR 70-300mm f/4.5-5.6E ED VR
 - AF-S DX NIKKOR 16-80mm f/2.8-4E ED VR
 - AF-S NIKKOR 24-70mm f/2.8E ED VR
 - AF-S NIKKOR 70-200mm f/2.8E FL ED VR
 - AF-S NIKKOR 120-300mm f/2.8E FL ED SR VR
 - AF-S NIKKOR 180-400mm f/4E TC1.4 FL ED VR
 - AF-S NIKKOR 200-500mm f/5.6E ED VR
 - AF-S NIKKOR 500mm f/4E FL ED VR
 - AF-S NIKKOR 500mm f/5.6E PF ED VR
 - AF-S NIKKOR 600mm f/4E FL ED VR

● サイレント撮影を [する] に !!

静止画撮影メニューの [**サイレント撮** 影] を [**する**] に設定すると、電子シャッ ターが使用できます。メカニカルな シャッター動作によるカメラブレを抑 えることができます。



▶ サイレント撮影について -

- 次の場合は、[サイレント撮影]を[しない]に設定してください。
 - フラッシュ撮影したい場合
 - 長秒時ノイズ低減またはフリッカー低減を使用したい場合
 - 被写体に動きがあり、画像が歪む場合
- その場合、カスタムメニューd5 [シャッター方式] を [オート] に設定することをおすすめします。シャッタースピード によって先幕シャッターが電子先幕シャッターに自動で切り 替わるため、カメラブレを抑えながら撮影できます。

● ローライト AF を [する] に !!

カスタムメニューa11 [**ローライト** AF]を[する]に設定すると、フォー カスモードが AF-S のときに暗い場所で もピントが合いやすくなります。夕景 や夜景の撮影に便利です。



● 露出ディレーモードを [1 秒] に!!

カスタムメニューd4[**露出ディレーモー ド**] では、シャッターボタンを押して からシャッターがきれるまでの時間を 設定できます。1秒以上に設定しておく と、シャッターボタン操作時のカメラ ブレを最小限に抑えられます。[**しない**]



以外に設定すると、撮影画面に № アイコンが表示されます。

● モニターモードを [モニターのみ] に !!

画像モニターを見ながら撮影する場合、 モニターモード切り換えボタンを押し て [モニターのみ] に設定することを おすすめします。アイセンサーに顔や 指を近づけても画像モニターの表示が 消えることがないため、構図作りに集 中できます。



モニターモードの [ファインダー優先] について

これまでのデジタル一眼レフカメラと似た動作になります。

- 静止画モードの場合、ファインダーに顔を近づけるとファインダー内に撮影画面が表示されますが、顔を離しても画像モニターには撮影画面は表示されません。
- MENU ボタンや ▶ ボタンを押すと、画像モニターにメニュー や再生画面が表示されます。
- これまでのデジタル一眼レフカメラの操作に慣れていて、手持ちでファインダーを見ながら撮影する場合におすすめします。

風景撮影に便利なカスタムボタンの 割り当てについて

風景撮影時におすすめのカスタムボタンおよび ∞ ボタンの機能の 割り当ては次の通りです。

61 5	Fn1 ボタン	6	プレビュー
Fn2	Fn2 ボタン	BKT	オートブラケティング
AFON	AF-ON ボタン	AFON	AF-ON
۲	サブセレクター 中央ボタン	RESET	フォーカスポイント中央リセット
	動画撮影ボタン	▦	格子線表示
	⊛ ボタン	ଷ୍	撮影時: 拡大画面との切り換え (拡大率:[等倍 (100%)]) 再生時: 拡大画面との切り換え (拡大率:[等倍 (100%)])

カスタムボタンの機能はカスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能]、
 ※ボタンの機能はカスタムメニューf3 [OKボタンの機能] で設定を行えます。



• 🕲 プレビュー

ボタンを押している間、現在設定している色味や露出、被写界深 度を撮影画面の表示に反映します。風景写真の仕上がりを確認し ながら撮影することができます。

● BKT オートブラケティング

ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、オートブラケティ ングの設定を変更できます。

 オートブラケティングの種類は、静止画撮影メニュー [オート ブラケティング]の[オートブラケティングのセット]で設定 できます。

RESET フォーカスポイント中央リセット

ボタンを押すと、フォーカスポイントを移動しても素早く中央に 戻せます。フォーカスポイントの移動を主にサブセレクターで行っ ている場合、サブセレクター中央ボタンに割り当てておくと便利 です。

● ▦ 格子線表示

ボタンを押すと撮影画面に構図用格子線を表示します。撮影時に 水平や垂直に気をつけて構図を決めたい場合に表示させておくと 便利です。

■ Q 拡大画面との切り換え

撮影時

◎ボタンを押すと、フォーカスポイントを中心にして設定した拡大率で拡大表示します。被写体にピントが合っているかを確認するのに便利です。特にオートフォーカスが苦手な被写体に対してマニュアルフォーカスで、より厳密にピント合わせをしたい場合に便利です。

・拡大率はカスタムメニューf3[OKボタンの機能]の[撮影モード]
 で[拡大画面との切り換え]を選んで ③ を押すと設定できます。

再生時

◎ ボタンを押すと、撮影時のフォーカスポイントを中心にして、 設定した拡大率で拡大表示します。被写体にピントが合っている かどうかを確認できます。

・拡大率はカスタムメニューf3[OKボタンの機能]の[再生モード]
 で[拡大画面との切り換え]を選んで ③ を押すと設定できます。



ポートレート

ポートレート撮影時に被写体に集中し て撮影を行うための基本設定やおすす めの機能を紹介します。



ポートレート撮影の基本設定

ポートレート撮影する場合におすすめの設定は次の通りです。

_			
書用	浄止画撮影メニュー		
	ピクチャーコントロール	ポートレート	
	フォーカスモード	AF-C	
	AF エリアモード	オートエリア AF	
	手ブレ補正	ノーマル	
	サイレント撮影	しない	
7	カスタムメニュー		
	a4 オートエリア AF 時の顔 と瞳認識	顔認識と瞳認識する	
	d5 シャッター方式	オート	
1	その他		
	モニターモード	ファインダー優先	

ピクチャーコントロールを [ポートレート] に !!

人物の肌が滑らかで自然な画像になり ます。

	ピクチャーコントロール 5
Δ	□A オート
1	⊡SD スタンダード
1	🖾 NL ニュートラル
ί.	四VI ビビッド
1	回MC モノクローム
M	回PT ポートレート
⇒	⊡LS 風景
0	④調整 03決定

フォーカスモードを AF-C に !!

シャッターボタンを半押ししている間 または AF-ON ボタンを押している間は 常にピントを合わせ続けるモードです。 動く被写体の撮影に最適です。



AFエリアモード ۵

[1] シングルポイントAF

[·)] ダイナミックAF

AF エリアモードを[オートエリア AF]に !!

カメラが自動的に全てのフォーカスポ イントから被写体を判別して AF エリア フレーム内でピントを合わせます。

- ・カスタムメニュー a4「オートエリア AF 時の顔と瞳認識]を「顔認識と瞳 認識する」に設定しておくと、カメラが顔または瞳を認識する と顔に黄色の枠(フォーカスポイント)が表示されます。自動 でフォーカスポイントが顔や瞳の位置に移動するため、被写体 が動いても構図や表情に集中して撮影できます。
- ・ 瞳認識は、ファームウェアのバージョンがC:200 以降のカメ ラで使用できます。

暗い場所でピントを合わせやすくするには。

カスタムメニュー a11 「**ローライト** AF] を [する] に設定すると、フォー カスモードが AF-S のときに暗い場所 でもピントが合いやすくなります。



● 手ブレ補正を [ノーマル] に!!

[**ノーマル**]を選ぶと高い手ブレ補正効 果が得られます。

 レンズシフト式手ブレ補正の〔ノーマ ル〕モードの原理上、シャッターレリー ズ後に撮影画面の表示がわずかに動く



ことがありますが、異常ではありません。違和感がある場合は[ス ポーツ]に設定するとファインダー像が安定し、フレーミング に集中して撮影を行えます。

・ 手ブレ補正切り替えスイッチのある F マウントレンズを装着している場合、[**手ブレ補正**] はグレーで表示されて設定できません。レンズで手ブレ補正の設定を行ってください。

● モニターモードを [ファインダー優先] に !!

これまでのデジタルー眼レフカメラの 操作に慣れていて、手持ちでファイン ダーを見ながら撮影する場合におすす めします。



- 静止画モードの場合、ファインダーに顔を近づけるとファイン ダー内に撮影画面が表示されますが、顔を離しても画像モニター には撮影画面は表示されません。
- MENU ボタンや ▶ ボタンを押すと、画像モニターにメニューや 再生画面が表示されます。

ポートレート撮影に便利な カスタムボタンの割り当てについて

ポートレート撮影時におすすめのカスタムボタンおよび 🞯 ボタン の機能の割り当ては次の通りです。

Fal S	Fn1 ボタン	►	再生
Fn2	Fn2 ボタン	AF/[+]	フォーカスモード /AF エリアモード
AFON	AF-ON ボタン	AF-ON	AF-ON
۲	サブセレクター 中央ボタン	RESET	フォーカスポイント中央リセット
	動画ボタン	Бġ	アクティブ D- ライティング設定
	⊛ ボタン	Q	撮影時: 拡大画面との切り換え (拡大率:[等倍 (100%)]) 再生時: 拡大画面との切り換え (拡大率:[等倍 (100%)])

カスタムボタンの機能はカスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能]、
 ※ボタンの機能はカスタムメニューf3 [OKボタンの機能] で設定を行えます。



● ▶ 再生

ボタンを押すと再生画面を表示します。ファインダーを見ながら 撮影をしている場合、左手をレンズに添えた撮影姿勢のまま右手 でボタンを押すことができ、撮影した画像をすぐにファインダー で確認できます。

RESET フォーカスポイント中央リセット

ボタンを押すと、フォーカスポイントを移動しても素早く中央に 戻せます。フォーカスポイントの移動を主にサブセレクターで行っ ている場合、サブセレクター中央ボタンに割り当てておくと便利 です。

● 喵 アクティブ D- ライティング設定

ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、アクティブ D-ラ イティングの設定を変更できます。暗い室内から外にいる人物を 撮影したり、直射日光の強い海辺など明暗差の激しい場所で撮影 をする場合に便利です。

■ Q 拡大画面との切り換え

撮影時

●ボタンを押すと、フォーカスポイントを中心にして設定した拡大率で拡大表示します。被写体にピントが合っているかを確認するのに便利です。特にオートフォーカスが苦手な被写体に対してマニュアルフォーカスで、より厳密にピント合わせをしたい場合に便利です。

・拡大率はカスタムメニューf3[OKボタンの機能]の[撮影モード]
 で[拡大画面との切り換え]を選んで ③ を押すと設定できます。

再生時

◎ボタンを押すと、撮影時のフォーカスポイントを中心にして、 設定した拡大率で拡大表示します。被写体にピントが合っている かどうかを確認できます。

・拡大率はカスタムメニューf3[OKボタンの機能]の[再生モード]
 で[拡大画面との切り換え]を選んで ③ を押すと設定できます。

スポーツ

スポーツなど、動きのある被写体を撮 影する場合の基本設定やおすすめの機 能を紹介します。



スポーツ撮影や動く被写体を撮影する ための基本設定

スポーツ撮影などの動く被写体を撮影する場合におすすめの設定 は次の通りです。

静止画撮影メニュー					
フォーカスモード	AF-C				
AF エリアモード	ダイナミック AF				
手ブレ補正	スポーツ				
サイレント撮影	しない				
カスタムメニュー					
a3 AF ロックオン	3				
d5 シャッター方式	オート				
その他					
レリーズモード	高速連続撮影、 高速連続撮影(拡張)				
シャッタースピード	1/500 秒以上の高速				
モニターモード	ファインダー優先				

● フォーカスモードを AF-C に !!

シャッターボタンを半押ししている間 または AF-ON ボタンを押している間は 常にピントを合わせ続けるモードです。 動く被写体の撮影に最適です。



● AF エリアモードを[ダイナミック AF]に!!

撮影者が選んだフォーカスポイントで ビント合わせを行います。選んだフォー カスポイントから被写体が一時的に外 れても、周辺のフォーカスポイントか らのピント情報を利用してピントを合 わせます。



- 「ダイナミック AF」はフォーカスモードが AF-C の場合のみ選べます。
- ・被写体の動きが速くて追いきれない場合などは、広い範囲(エ リア)で被写体をとらえることができる[ワイドエリア AF (S)] または[ワイドエリア AF (L)]もお試しください。

● 手ブレ補正を [スポーツ] に!!

[スポーツ] を選ぶと、動きの速い被写 体や、動きの変化が激しい被写体を撮 影する場合にもファインダー像が安定 し、フレーミングに集中して撮影を行 えるのでおすすめです。



- 「ノーマル」と比べて撮影画面の見え方が自然なため、高速連続 撮影時も被写体を追いやすくなります。[スポーツ] に設定して いても表示の動きが気になる場合は、[しない] に設定してくだ さい。
- 装着したレンズによっては [スポーツ] が設定できない場合が あります。
- ・ 手ブレ補正切り替えスイッチのある F マウントレンズを装着している場合、[**手ブレ補正**] はグレーで表示されて設定できません。レンズで手ブレ補正の設定を行ってください。

● モニターモードを [ファインダー優先] に !!

これまでのデジタルー眼レフカメラの 操作に慣れていて、手持ちでファイン ダーを見ながら撮影する場合におすす めします。



- 静止画モードの場合、ファインダーに顔を近づけるとファイン ダー内に撮影画面が表示されますが、顔を離しても画像モニター には撮影画面は表示されません。
- MENU ボタンや ▶ ボタンを押すと、画像モニターにメニューや 再生画面が表示されます。

スポーツ撮影に便利な カスタムボタンの割り当てについて

スポーツ撮影時におすすめのカスタムボタンおよび ∞ ボタンの機能の割り当ては次の通りです。

Fal S	Fn1 ボタン	►	再生
Fn2	Fn2 ボタン	Оπ	プロテクト
AFON	AF-ON ボタン	AFON	AF-ON
۲	サブセレクター 中央ボタン	RESET	フォーカスポイント中央リセット
	動画ボタン	AF/[+]	フォーカスモード /AF エリアモード
	∞ ボタン	ଷ୍	撮影時: 拡大画面との切り換え (拡大率:[等倍 (100%)]) 再生時: 拡大画面との切り換え (拡大率:[等倍 (100%)])

カスタムボタンの機能はカスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能]、
 ※ボタンの機能はカスタムメニューf3 [OKボタンの機能] で設定を行えます。



● ▶ 再生

ボタンを押すと再生画面を表示します。ファインダーを見ながら 撮影をしている場合、左手をレンズに添えた撮影姿勢のまま右手 でボタンを押すことができ、撮影した画像をすぐにファインダー で確認できます。

● ロー プロテクト

ボタンを押すと、再生画面に表示されている画像をプロテクト(保 護)します。Fn ボタンに割り当てておくことで *i*メニューから操 作を行うよりも時間が短縮でき、必要な画像に素早く印をつけた い場合に便利です。

RESET フォーカスポイント中央リセット

ボタンを押すと、フォーカスポイントを移動しても素早く中央に 戻せます。フォーカスポイントの移動を主にサブセレクターで行っ ている場合、サブセレクター中央ボタンに割り当てておくと便利 です。

● AF/⊡ フォーカスモード /AF エリアモード

ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すとフォーカス モード、サブコマンドダイヤルを回すと AF エリアモードの設定 を変更できます。

 初期設定では Fn2 ボタンに割り当てられています。Fn2 ボタンの 設定を変更した場合、他のボタンにこの機能を割り当てておく ことをおすすめします。

● Q 拡大画面との切り換え

撮影時

◎ボタンを押すと、フォーカスポイントを中心にして設定した拡大率で拡大表示します。被写体にピントが合っているかを確認するのに便利です。

・拡大率はカスタムメニューf3[OKボタンの機能]の[撮影モード]
 で[拡大画面との切り換え]を選んで ③ を押すと設定できます。

再生時

◎ボタンを押すと、撮影時のフォーカスポイントを中心にして、 設定した拡大率で拡大表示します。被写体にピントが合っている かどうかを確認できます。

拡大率はカスタムメニューf3[OKボタンの機能]の[再生モード]
 で[拡大画面との切り換え]を選んで ③ を押すと設定できます。

動画モードの静止画撮影機能を使って 決定的な瞬間をとらえたい

ゴルフのスイングように被写体の動きが極めて速い場合、連続撮 影してもインパクトの瞬間がとらえられないことがあります。そ の場合、動画モードに切り替えてシャッターボタンを全押しする と、最大120コマ/秒で静止画の撮影が可能です。これにより、 今まで撮れなかった瞬間の画像を撮影できるようになります。



静止画/動画切り換えレバー を味に合わせて動画モード にする



動画撮影中の連続撮影を使って決定的な瞬間をとらえたい

2 動画撮影メニュー [画像サ イズ/フレームレート] で [1920 × 1080 120p] を 選ぶ

- 1秒間に撮影できる連続撮影速度は、設定したフレーム レートに相当します。たとえば[1920 × 1080 120p]
 に設定した場合、約 120 コマ / 秒になります。
- 撮影される静止画の画像サイズは動画の画像サイズと同じです。アスペクト比は16:9になります。
- ・ 画像サイズやフレームレートは動画モードの i メニュー
 「画像サイズ / フレームレート / 画質」でも設定できます。







5

撮影モードを M にする

動画モードの場合、撮影モード が P や S の場合は露出を自分で 変更できません。絞り値や ISO 感度を変更して露出を設定した い場合、撮影モードを M に変更 してください。



- シャッタースピードや絞り値、
 ISO 感度の値を調整して露出を
 設定してください。
- ・被写体ブレの少ない連続撮影 画面が必要な場合は、シャッ タースピードを1/1000 秒以上 の高速側に設定してください。



М	AFF (=) sig	FEA BAI I
		TOK(CORPUSA)
AF		i
Ø		
SALTER .		
GAU		1
	IIKKES	
	ICK 1	

2 ピントを合わせる シャッターボタンを半押しまたは AF-ON ボタンを押してピ

- ントを合わせます。
- 8 シャッターボタンを押して撮影する
 - シャッターボタンを全押ししている間、Z7は最大3秒間、 Z6は最大2秒間、連続撮影します。
 - ピントが合っていなくても撮影されます。

/動画撮影中の連続撮影について

- フリッカー低減撮影の効果は無効になります。
- ・ 画質モードは [FINE ★] に固定されます。

高速連続撮影と高速連続撮影(拡張) の違いを知りたい

Z 7/Z 6 の連続撮影で選べる [高速連続 撮影] と [高速連続撮影 (拡張)] の違 いは次のとおりです。撮影時のシチュ エーションや被写体によって、使い分 けることをおすすめします。

	高速連続撮影	高速連続撮影(拡張)
連続撮影速度	約 5.5 コマ / 秒	Z7:最高9コマ/秒、 Z6:最高12コマ/秒
AE	追従	追従*
AF	追	従
フリッカー 低減機能	使用可能	無効(機能しない)
連続撮影中の 画像モニター / ファインダー像	露光中は ブラックアウト	撮影済みの画像が 遅れて表示
おすすめの 使用シーンや 被写体	 フリッカー現象が発生している環境下 運動会 	 ・ ブラケット撮影 ・ ポートレート撮影 ・ 鉄道

※ カメラのファームウェアが C: 2.00 より前のバージョンでは、 AE は 1 コマ目の撮影時の露出で固定されます。

● 撮影画面について

高速連続撮影と高速連続撮影(拡張)では、シャッターをきった ときの撮影画面の表示が異なります。

被写体の動き





高速連続撮影は、シャッターがきれる瞬間に撮影画面が一瞬ブラッ クアウトしますが、撮影画面には被写体がほぼリアルタイムで表 示されます。

高速連続撮影(拡張)



高速連続撮影(拡張)は、シャッターがきれる瞬間の撮影画面の 暗転はありませんが、撮影画面はリアルタイムではなく、撮影し た画像が少し遅れて表示されます。

● 連続撮影速度について

連続撮影時の最大撮影速度は、カメラやカメラの設定によって異 なります。

Z7の場合

画質	記録ビット	サイレン		高速連続撮影
モード	モード	ト撮影	同还是机钢彩	(拡張)
JPEG/TIFF	—	しない	約 5.5 コマ / 秒	約9コマ/秒
RAW を含む	12 ビット			
画質モード	14 ビット		約5コマ/秒	約8コマ/秒
JPEG/TIFF	—		約4コマノ秒	約0コフノ孙
RAW を含む	12 ビット	する		
画質モード	14ビット		約3.5コマ/秒	約6.5 コマ/秒

<u>Z6の場合</u>

画質	記録ビット	サイレン	支 油油结提影	高速連続撮影
モード	モード	ト撮影	向还建机御彩	(拡張)
JPEG/TIFF	—			約12
RAW を含む	12ビット	しない	約 5.5 コマ / 秒	TY IZ _J Y / 19
画質モード	14ビット			約9コマ/秒
JPEG/TIFF	—		約45 コマノ秋	約12
RAW を含む	12 ビット	する	ポリ 4.5 ニ マ / 19	
画質モード	14ビット		約4コマ/秒	約8コマ/秒

シャッタースピードと絞り値を 維持して適正露出で撮影したい

デーゲームのサッカースタジアムや野球場などの日なたと日陰が 混在するような場所で、設定したシャッタースピードや絞り値を 維持したい場合、ISO 感度を固定すると適切な露出を得られない ことがあります。感度自動制御機能を使用すると、ISO 感度が自 動的に調整されるため適正露出で撮影することができます。

 ISO ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと ISO AUTO (感度自動制御をする)と ISO (感度自動制御をしない)に切り換えられます。

サブコマンドダイヤル



ISO ボタン

 ・ 感度自動制御機能をする設定の場合、 静止画撮影メニュー[ISO 感度設定]
 の[制御上限感度]で上限感度を200
 ~ Hi 2の間で設定できます。感度自動制御するときに ISO 感度が高くな りすぎず、ノイズを抑えられます。

	1S0感度設定	Ð
۵		
₩.	1SO感度	100
1	威度白動制御	ON
Ť.	制御上限感度	51200 ×
	↓使用時の制御上限感度	51200
₽	低速限界設定	AUTO

シャッタースピードと絞り値を維持して適正露出で撮影したい

・[ISO 感度設定]の[低速限界設定] では、撮影モードがPまたはAのときに感度自動制御が働き始めるシャッタースピードを1/4000~30秒の間で設定できます。[オート]に設定すると、レンズの焦点距離に応じて低速限界をカメラが自動で設定します。

	1S0感度設定	5
۵	低速限界設定	
埂	オート	•
1	1/4000 秒	
ι.	1/3200 秒	
1	1/2500 秒	
Ø	1/2000 秒	
₽	1/1600 秒	
0	1/1250 秒	

スポーツや動く被写体を撮影するときの簡易的な露出設定に-ついて

屋内と屋外のように、明るさが異なる場所に繰り返し移動す るような場合、「スポーツ撮影や動く被写体を撮影するための 基本設定」(ロ24)の設定に加え、次のように設定すること をおすすめします。

- 撮影モード:A(絞り優先オート)
- 感度自動制御:する
- 低速限界設定: 1/500 秒

撮影モードAでは、露出が適正になるようにカメラが自動的 にシャッタースピードを決定します。シャッタースピードが 1/500秒よりも低速になるとカメラが判断した場合は感度を 自動的にあげるため、1/500秒より低速で撮影することはあ りません。屋内外の環境に順応しながら、被写体ブレを抑え た撮影が可能です。なお ISO 感度が高くなると、撮影した画 像にノイズ(ざらつき、むら、すじ)が発生しやすくなります。

便利な機能

撮影シーンにかかわらずに使える便利 な機能を紹介します。



よく使う機能を撮影モードダイヤルに 登録したい

撮影モードダイヤルU1、U2、U3には、 よく使う機能を登録できます。風景撮 影時の設定はU1、ポートレート撮影時 の設定はU2、スポーツ撮影時の設定は U3というように、撮影シーン別に設定 を登録しておけば、撮影モードダイヤ



ルを切り替えるだけで複数の設定を一気に変更できます。

- U1、U2、U3 には、次の撮影機能を登録できます。
 - 静止画撮影メニュー項目
 - 動画撮影メニュー項目
 - カスタムメニュー項目
 - 撮影モード、シャッタースピード(撮影モードS、M)、絞り 値(撮影モードA、M)、プログラムシフト(撮影モードP)、 露出補正、調光補正など
- ・セットアップメニュー [ユーザーセッ ティングの登録] で [U1 に登録]、[U2 に登録] または [U3 に登録] のいず れかを選んで ④ を押します。[はい] を選んで 凾 ボタンを押すと、現在の 設定内容が登録されます。



/ユーザーセッティングについて -

- 「撮像範囲設定」や「カスタムビクチャーコントロール」など、
 一部登録できないメニュー項目があります。
- ユーザーセッティングのリセットはセットアップメニュー
 [ユーザーセッティングのリセット]で行えます。

ファインダー撮影時に 目が疲れないようにしたい

ファインダー撮影時に、長時間ファイ ンダーを見ていると目が疲れることが あります。カスタムメニュー d8 [Lv に 撮影設定を反映]を [しない] に設定 すると、ホワイトバランス、ピクチャー コントロール、露出補正の設定などを



撮影画面に反映せず、ファインダー表示に適した色味や明るさで 表示されるため、長時間ファインダーを見ながら撮影する場合に 適しています。



[する]

[しない]

- 撮影画面と実際に撮影された画像で色味が異なることがあるため、撮影後は画像を確認することをおすすめします。
- ・動画モード時は d8 [Lv に撮影設定を反映] の設定にかかわらず、 常に撮影の設定を反映します。

フリッカー現象の影響を低減して撮影 したい

蛍光灯をはじめとする一部の人工照明下で撮影すると、照明の明 滅による明るさのちらつき(フリッカー現象)によって画像の一 部に露出ムラが生じたり、連続撮影時に露出や色味にばらつきが 生じることがあります。フリッカー低減機能を使うと、フリッカー の周期を検知し、露出や色合いへの影響が少ないタイミングで シャッターがきれるように撮影のタイミングを調整します。

 フリッカー低減機能を使うには、静止 画撮影メニューの「フリッカー低減撮 影]を「する」にします。





[する]



[しない]

- [する] に設定すると、撮影画面に FLICKER アイコンが表示されます。
- 「する」に設定しても、FLICKERアイコンが表示されない場合や、 フリッカー低減機能が動作しないことがあります(ロ43)。

[フリッカー低減撮影]について ―

- フリッカー低減機能を使うと、光源によってシャッターのきれるタイミングが少し遅れることがあります。
- 電源周波数が 50Hz の場合は 100Hz の点滅周期を、また電源周波数が 60Hz の場合は 120Hz の点滅周期を検出します。
 連続撮影中に光源の点滅周期が変化した場合、フリッカーの影響は低減できません。
- ・背景が暗い場合や輝度が高い光源が含まれる場合など光源や 撮影条件によっては、フリッカーが検出できなかったり、フ リッカー低減の効果が得られないことがあります。
- イルミネーションなどの特殊な光源下では、フリッカー低減 機能の効果が得られないことがあります。

静止画撮影メニュー[フリッカー低減撮影]の制限について -

次の場合など、静止画撮影メニュー[**フリッカー低減撮影**] が無効になります。

- ・レリーズモードが [高速連続撮影 (拡張)] の場合
- ・静止画撮影メニュー [サイレント撮影] が [する] の場合
- ・ HDR (ハイダイナミックレンジ) 撮影時
- 露出ディレーモードが有効の場合
- シャッタースピードが 1/100 秒より低速の場合や、Bulb (バ ルブ)または Time (タイム)の場合

動画撮影時のフリッカー低減機能について-

動画撮影時は動画撮影メニュー [フリッカー低減] で設定を 変更します。通常はカメラが自動的に電源周波数を選ぶ [オー ト] をお使いください。



ターゲット追尾 AF を使用する場合、 フォーカスモードをAF-C. AF エリアモー ドを[オートエリア AF] に設定するこ とをおすすめします。ターゲット追尾 を開始すると被写体の動きに合わせて フォーカスポイントが移動し、シャッ



ターボタンの半押しまたは **AF-ON** ボタンを押している間ピントを 合わせ続けます。

※本説明はファームウェア C: 3.00 以降を対象としています。

追尾を開始するには

必要に応じてフォーカスポイントを移動します。

 ターゲットとなる被写体が フォーカスポイントの位置に きたら、シャッターボタンを 半押しし続けるか AF-ON ボタ ンを押し続けます。





- ボタンを押している間は フォーカスポイントの色が黄色に変わってターゲットを追尾し ます。
- ・ M ボタンを押すか画像モニターをタッチしても追尾を開始します。

追尾を終了するには

- シャッターボタンまたは AF-ONボタンを放すと、追尾 を終了します。
- フォーカスポイントは開始前 の位置に戻ります。



 ● ボタンまたはタッチで追尾を開始した場合は、● ボタンを押 すと追尾を終了します。フォーカスポイントは中央に戻ります。

ターゲット追尾 AF の開始 / 終了を他のボタンに割り当てる ファームウェアが C:3.00 以降の場合、カスタムメニュー f2 [カ スタムボタンの機能] で ጫ Fn1 ボタン、 ጫ Fn2 ボタン、 価 レ ンズの Fn ボタン、 価 レンズの Fn2 ボタンに [ターゲット追尾] を割り当てられます。 AF エリアモードが [オートエリア AF] のときに割り当てたボタンを押すと、 ターゲット選択画面に 切り替わってターゲット追尾 AF が可能になります。

ピント合わせの操作とレリーズ操作を 別のボタンに分けたい

カスタムメニュー a7 [半押し AF レン ズ駆動] を [しない] に設定すると、 ピント合わせは AF-ON ボタンのみで行 います。ポートレート撮影やスポーツ 撮影などの AF-C を使用するシーンで、 シャッターボタンはレリーズに集中で きます。



- AF-ON ボタンでピント合わせをした後にAF-ON ボタンを離すとAF が停止します。この状態から構図変更をしてシャッターボタンを 押しても、再度ピント合わせをせずにレリーズのみ行なえます。
- フォーカスポイントの移動をサブセレクターで行い、ピント合わせをAF-ONボタンで行うと、右手の親指を少し動かすだけで構図づくりを素早く行えます。

動物瞳 AF/ 顔認識 AF を使って 犬や猫の顔や瞳にピントを合わせたい

カメラのファームウェアが C:3.00 以 降の場合、カメラが犬や猫の顔と瞳を 認識します(動物瞳 AF/ 顔認識 AF)。



動物撮影の基本設定

犬や猫の写真を撮影する場合におすすめの設定は次の通りです。

静止画撮影メニュー				
	フォーカスモード		AF-C	
	AF エリアモード		オートエリア AF	
	サイレン	ト撮影	しない	
カスタムメニュー				
	a4 顔と間	トエリア AF 時の 童認識	動物認識する	
	a12 内蔵 /	AF 補助光の照射設定	しない	
	d5 シャ:	ッター方式	オート	

動物撮影の設定を撮影モードダイヤルに登録する

設定を撮影モードダイヤル U1、U2、U3 に登録しておくと、撮 影モードダイヤルを切り替えるだけで複数の設定を一気に変 更できます。詳しくは<u>「よく使う機能を撮影モードダイヤル</u> <u>に登録したい」(ロ40)</u>をご覧ください。

動物瞳AF/顔認識AFを使って犬や猫の顔や瞳にピントを合わせたい

動物瞳 AF/ 顔認識 AF を有効にするには

動物瞳 AF/ 顔認識 AF は、AF エリアモー ドがオートエリア AF で、カスタムメ ニュー a4 [オートエリア AF 時の顔と 瞳認識] が [動物認識する] に設定さ れている場合のみ有効です。



動物瞳 AF/ 顔認識 AF のご注意

- 犬や猫の種類によっては顔や瞳を認識できない場合があります。
- 次のような場合は、動物瞳 AF/ 顔認識 AF が正常に行われない ことがあります。
 - 顔が画面に対して大きい / 小さい場合
 - 顔が明るすぎる / 暗すぎる場合
 - 体毛などで目や顔が隠れている場合
 - 瞳と周辺部位の色が近い場合
 - 犬や猫の動きが大きすぎる場合
- AF 補助光が犬や猫の瞳に悪影響をおよぼす可能性があるため、 カスタムメニュー a12 [内蔵 AF 補助光の照射設定]は[しない]
 に設定してください。

╭[オートエリア AF 時の顔と瞳認識]を素早く呼び出す ―

マイメニューのトップ項目としてカスタムメニュー a4 [オートエリア AF 時の顔と瞳認識]を登録し、カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能] で任意のボタンに [マイメニューのトップ項目へジャンプ] を割り当てると、瞳 AF/ 顔認識 AF の設定を素早く切り換えられます。

動いている犬や猫を撮影するときの簡易的な露出設定について、

47ページの基本設定に加え、次のように設定することをおすすめします。

- 撮影モード:A(絞り優先オート)
- 感度自動制御:する
- 低速限界設定: 1/500 秒

撮影モードAでは、露出が適正になるようにカメラが自動的 にシャッタースピードを決定します。シャッタースピードが 1/500 秒よりも低速になるとカメラが判断した場合は感度を 自動的にあげるため、1/500 秒より低速で撮影することはあ りません。なお ISO 感度が高くなると、撮影した画像にノイ ズ (ざらつき、むら、すじ)が発生しやすくなります。

必要な画像に印をつけたい

撮影した画像には、再生画面でプロテクト(保護)をかけたりお 気に入りの度合いによって評価をつけたりできます。設定したプ ロテクトやレーティングは、Capture NX-D または ViewNX-i にも 反映されます。

● プロテクトを設定する

大切な画像を誤って削除しないために、選んだ画像にプロテクト を設定できます。ただし、メモリーカードを初期化すると、プロ テクトを設定した画像も削除されますのでご注意ください。

i メニューで設定する

再生時の ¿メニューで画像をプロテクトできます。

1 ▶ ボタンを押して再生画面 を表示する



2 プロテクトしたい画像を選んで*i*ボタンを押す

再生時の **i** メニューが表示され ます。



3 [プロテクト] を選んで ® ボタ ンを押す

- F
 アイコンが表示されます。
- プロテクトを解除するには、解 除する画像を選んで再度 [プロ テクト]を選びます。



Fn1 または Fn2 ボタンで設定する

カスタムメニューf2 [カスタムボタン の機能] で Fn1 または Fn2 ボタンに [プ ロテクト] を割り当てておくと、ボタ ンを押すだけでプロテクトを設定でき るので便利です。



■ ボタンを押して再生画面 を表示する



- 2 プロテクトしたい画像を選 んで Fn1 または Fn2 ボタン を押す

 - プロテクトを解除するには、もう一度 Fn1 または Fn2 ボタンを押します。



レーティングを設定する

選んだ画像にレーティングを設定します。プロテクトした画像に はレーティングを設定できません。プロテクトを解除してからレー ティングを設定してください。

*i*メニューで設定する

再生時の i メニューで画像にレーティングをできます。





2 レーティングを設定したい画 像を選んで*i*ボタンを押す

> 再生時の **i** メニューが表示され ます。









Fn1 または Fn2 ボタンで設定する

カスタムメニューf2 [カスタムボタン の機能]で Fn1 または Fn2 ボタンに[レー ティング] を割り当てておくと、ボタ ンを押しながらメインコマンドダイヤ ルを回してレーティングを設定できる ので便利です。



■ ボタンを押して再生画面 を表示する



- 2 レーティングを設定したい画 像を選び、Fn1またはFn2ボ タンを押しながらメインコ マンドダイヤルを回す
 - ★★★★★ ~ ★、なし、 6(削)
 除候補)から選びます。
 - ボタンを放して決定します。



Nikon

© 2020 Nikon Corporation